

2012年度、公益社団法人浦安青年会議所は初めて1月第一例会からの活動をスタートする記念すべき年度でありました。当委員会は公益目的事業をより効率的且つ精度の高い事業とするべく会議の仕組みを大幅に変更する必要がありました。そこで予定者の段階で議案フォーマットの変更に始まり、公益・規則・財政の審査会議の確立に加え各審査会議のマニュアルの作成と様式の整備。そして浦安JC統一基本マニュアルの作成とともに議案上程システムの確立をすることで年当初からスタートすることができました。

また、Webサイトの運営・管理については副委員長を中心に外部業者との連携を図りながらSNSの活用を併用し、魅力的な情報発信に努めるとともに、会員ページにおいては事務局スケジュール管理をメンバー間でリアルタイムに共有できるようにシステム変更しより効率的な委員会開催をサポートすることができました。

さらに会員データの更新および日本JCへの登録、また備品発注については遅延無く発注することを心がけ、事務局の管理につきましては大掃除を実施し整理整頓だけでなく、効率よく各委員会が開催できるよう努めました。

理事会開催においてはアジェンダの配信が度々遅れることがあり、議案上程システムを確立したものの有効に運用しきれないという課題を残すことになってしまいました。また、本来事業構築が合理的になるように仕組みを変更したにも関わらず、臨時理事会を8回開催する結果になってしまったことは、新しい制度を十分に理事メンバーに浸透できなかったことが原因と考えられ、メンバーの先導役を果たすことが出来なかったと反省しております。

また、その他事業の担当として第45回千葉ブロック協議会会員大会では、メンバーの皆様に参加する意義を感じていただき、またメンバー間の結束をより強固なものにすることが出来たと感じています。そして世界会議台北大会では16名のメンバーの登録をいただき、浦安JC設立依頼最高の参加人数となりました。

第3回通常総会では、準会員制度の設立と第2回通常総会の廃止について定款を変更し、諸規定においては、審査会議に関する事項の制定と次年度事業策定協議会の構成員数の変更をしました。

年当初に掲げた委員会事業計画をすべて実行に移せたのは、1年3ヶ月という期間にわたりサポートしていただいた委員会メンバーがいてくれたからであり、また大きな制度変更にも熱心に、柔軟に、積極果敢に取り組んでいただいたLOMメンバーの皆様のおかげだと感謝しております。心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。